



NO.

# いちよ

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

## 解説

### 礼拝作法（おつとめのしかた）⑦

住職 平田真純

当山ご信徒が、待乳山の経本「大聖歡喜天禮拜作法」でおつとめする際の作法や意味をシリーズで解説いたします。

#### ⑧ 開経偈

無上甚深微妙法 百千萬劫難遭遇  
我今見聞得受持 願解如来真實義

「無上甚深微妙の法は、百千万劫にも遭い遇うこと難し、我れ今見聞し受持することを得たり、願わくは如来の真實義を解せん」

読経の前に、おおむねどの宗派でも称える偈文です。

私なりに意識しますと、

「この上なく深遠で優れた仏法に出会うことは、奇跡に近いことである。私は今、幸いにも經典に出会い、信仰する機会を得た。仏の真實の教えを体得することを願う。」

「一期一会」という言葉があります。一生涯に一度だけ出会うことをいいますが、その時々、一瞬一瞬を

大切にすべきという教えとしても用いられます。

人は日々刻々変化しています。人を取り巻く状況も日々刻々変化しています。思えば、今日、今現在の自分が聖天さまの宝前で読経するのは、もう生涯二度とありません。今日感じる仏法と明日感じる仏法とは変化しています。毎日おつとめをされる方であれば、毎日フレッシュな気持ちで読経していただきたいと思えます。

暗記するほど慣れてくると、どうしても集中力が途切れがちになる場合があります。「開経偈」を称えて気持ちを新たにしてください。

- ⑨ 摩訶般若波羅蜜多心經（般若心經）
- ⑩ 妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五（觀音經）
- ⑪ 十一面觀世音菩薩隨願即得陀羅尼經
- ⑫ 大聖歡喜天使咒法經

「大聖歡喜天禮拜作法」には、この四經が掲載されています。すべて読誦するに越したことはないでしょうが、基本的には、「般若心經」と「觀音經」を読誦していただければ十分です。時間の都合等によつては、

「觀音經」は偈文（世尊妙相具々）からでも結構です。さらに時間に余裕のないときは、「般若心經」だけでもよいでしょう。

（続く）

# 待乳山だより

## 浮世絵展 開催中

九月二十一日(月)か

ら十月四日(日)まで、

信徒会館大広間にて、浮

世絵展を開催しております。

今回の浮世絵展は「海

を越えた江戸情緒待乳山

聖天とその周辺」と題し

まして、ボストン美術館

所蔵の浮世絵の展示も行

います。

浮世絵に描かれた江戸

時代の待乳山は、隅田河畔を一望できる眺望絶佳の

丘でした。「東海道五十三次」で有名な歌川広重を始

めとして多くの浮世絵師に、何度も江戸の名所とし

て画のテーマに選ばれました。

待乳山が描かれた浮世絵が一堂に会する見ごたえ

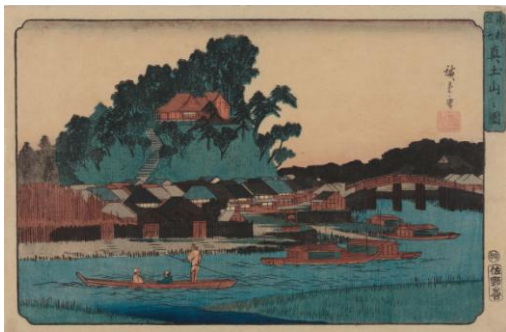
のある内容となっておりますので、ぜひご覧くだ

さい。

平成二十七年九月二十一日(月)〜十月四日(日)まで

会場 信徒会館大広間特設会場

時間 九時半より十六時まで



## 三宝荒神様御開帳

浮世絵展の開催を記念して、期間

中は本堂内陣左手の仮座に三宝荒神

様をお祀りいたします。初めての御

開帳で、三宝荒神様

とご縁を深める絶好の機会です。み

なさまのご参拝をお待ちしており

ます。

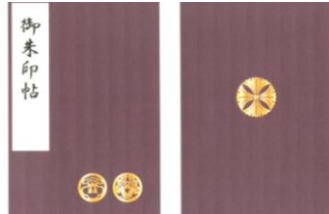
また聖天様、毘沙門天様、三宝荒

神様の三尊を並べた御朱印を期間

限定でお授けするほか、表紙に大根

と巾着の印が入った当山オリジナ

ルの御朱印帖の頒布もごさいます。



## 震災供養碑の慰霊法要

九月一日、震災供養碑の慰

霊法要が行われました。

当山隣の聖天公園にある

震災供養碑は戦前までは当

山の境内地にあったもので

す。碑文は当時当山が所属し

ていた天台宗のお座主様が

書かれたもので、毎年九月一

日の防災の日には、関東大震

災で亡くなった方を供養する法楽を行っております。

今年も住職以下僧侶二名の出仕によって慰霊法楽

を執行いたしました。



## お宮参り

八月二十四日、並木恵絆ちや

んのお宮参りを行われ、行者様

よりご加護を授かりました。

健やかに成長されることをお

祈りしております



また六日には、聖天町会で防災訓練が実施されました。本龍院からも数名が見学し、消防庁の方からAEDや放水訓練についての説明を受けました。

## 行事報告

八月二十日(木)灯明の功德を称え、ご供養する灯明講を行いました。

朝まいり会 九月度表彰者

長い間、朝まいり会を参加されている左記の方々に記念品を授与いたしました。(敬称略)

半年 新井ユタカ 新井治美 福井翼

松川秀孝 山崎友靖

五年 三崎登子

# 歡喜講祈禱会

十月十八日（日）午前十一時

講金 三、〇〇〇円

十月十八日、歡喜講祈禱会を執行いたします。  
歡喜講は、そもそものは昭和二十八年、戦災で焼失した本堂の再建促進のため、多くの方々にご寄進をお願いするために結成された講です。皆様の開運招福を祈願するために大般若転説法要を行います。

大般若経とは正式には『大般若波羅蜜多経』と呼びます。この経典を求めて天竺（インド）まで旅をしたのが、「西遊記」の三蔵法師のモデルとなった玄奘三蔵です。

唐の時代、中国に伝わっていた仏教経典は内容が混在しており、各地の僧侶たちは異なる説を説いていました。玄奘は正統な仏教を知るため、原典を求めて天竺に渡る決意をします。玄奘は砂漠や山を越える苛酷な道の中、十七年かけて膨大な量の経典を持って帰国します。その後、残りの人生をその経典の訳出事業に費やしました。

玄奘の訳した経典によって、中国のみならず



日本でも仏教隆盛の基礎が作られました。中でも六百巻にも及ぶ大般若経の編纂、翻訳は玄奘の集大成となりました。そして、大般若経の漢訳が終わった百日後に、玄奘は亡くなりました。大般若経は、その教えの深遠さのみならず、それを伝えるために生涯を賭けた玄奘三蔵法師の功德が込められており、文字を見、音を聞くだけでも御利益があると言われております。

またお申し込みの方には、お名前入りの開運招福のお札を授与いたします。皆様お誘い合わせの上、お申込みください。

## 歡喜講特別公演 浪曲の会

今年も、歡喜講祈禱会を記念した特別公演を開催いたします。

今回の催しは、信徒会館大広間におきまして、浪曲師、澤孝子さんと、その弟子である澤勇人さんをお招きして浪曲をお届けします。

澤孝子さんは昭和二十九年デビュー。昭和四十八年NHK第一回浪曲新人コンクール最優秀賞受賞。日本浪曲協会の会長も務めたことのあるベテラン曲師さんです。

観覧は無料ですので、歡喜講終了後、ぜひ大広間までお越しください。

日時 十月十八日（日）

歡喜講祈禱会終了後

場所 信徒会館大広間

参加費 無料



# 十月行事予定

## 歡喜講祈禱会

十月十八日(日) 午前十一時

講金

三〇〇〇円也

ご参拝の皆様の開運招福を祈念し、各自のお名前入りのお札を授与いたします。法要終了後、大広間にて浪曲公演が行われます。ぜひご観覧ください。

## 朝まいり会

十月一日〜七日

午前八時から八時半 会費

月 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、読誦終了後に食事作法を行います。

## 日曜勤行

十月十一日(日)

午前九時

参加費

無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

## 写経の会

十月十一日(日)

午前十時/午後二時 会費

五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

## 夜間開堂法話とおつとめ

十月二十四日(土) 午後六時開堂

参加費

無料

今月は本堂にて、午後七時よりおつとめと法話を行います。

## 合同大般若法要

十月二十五日(日)

午前十一時

法要料

五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御札の法要です。

## 十一月の行事

写経供養会

十一月八日(日)

午前十一時三〇分

講金

一、五〇〇円也

豊講

十一月二十日(金)

午前十一時

講金

一、五〇〇円也

## ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

## 祈禱料

別座祈禱 壺万円以上(一週間)

浴油祈禱 三千五百円以上(一週間)

華水供 五百円/一日(お札は出ません)